

## 令和3年度 第3回常任理事会 議事録(訂正版)

日 時 令和3年6月26日(土) 10時00分～12時15分

場 所 北海きたえーる 研修室

出席者 印藤智一、丸山道博、家近昭彦、田中昌幸、齊藤幸治、  
石崎 賢、川崎尚子、浅野泰弘、笹森恭之、多田吉宏、  
奥山 諭、藤原 正

<進行：田中副理事長>

### 1. 開 会

議事録署名人に印藤理事長、田中副理事長、笹森指導普及委員長の3名を選出

### 2. 理事長あいさつ

インターハイ全道大会が無事終了した。

JVA新体制が発表され、当協会も新たな常任理事の体制で進めていくこととなる。活発な意見交換のもと常任理事会を進めてほしい。

今回は「各委員会の現状と課題について」を議題としており、各委員会の課題を常任理事全体で共有し、共通認識のもと連携して各種事業を進めていきたいと考えているので、よろしく願います。

### 3. 協議事項

#### (1) 各種会議議事録の押印廃止に伴う規約の一部改正について ～齊藤総務委員長

事務負担の軽減と効率化を図るため、評議員会・理事会・常任理事会議事録の押印廃止に伴う規約の一部改正について、次期評議員会へ提案すべく準備を進め、それまでの間の押印廃止の運用について、9月開催予定の第2回理事会に諮る。

#### (2) チャレンジ・ファンド規程の廃止について ～齊藤総務委員長

寄付者の意向により、寄付先が変更となりファンド運用を図るための財源である「寄附金等」が見込めなくなったことから、9月開催予定の第2回理事会に諮り、規程を廃止する。

#### (3) 北海道バレーボール協会創立90周年記念事業について ～齊藤総務委員長

当該周年事業の開催にあたり、実行委員会組織・事業計画・収支予算・役割分担等の素案が、以下のとおり説明された。

- ・実行委員会組織は、5月の臨時理事会において、実行委員8名が選任された。
- ・事業計画では、日程が令和3年12月18日(土)、場所がJRタワーホテル日航札幌で、出席者120名程度を想定して式典及び祝賀会等を実施予定。
- ・収支予算では、収入を会費、特別事業等基金からの繰入金及び雑収入で計226万円。支出を報償費、旅費及び需用費等で計226万円の予算を編成し、第2回理事会に提案予定。
- ・本日午後開催の第1回実行委員会で、委員長と副委員長が互選され、各担当(総務・経理庶務・式典・記念事業)の役割分担を協議予定。

#### (4) 各委員会における現状と課題について

①道協会全体 ～印藤理事長

- ・ 常任理事会が世代交代となったが、100周年に向けた体制づくりを進めたい。
- ・ 国際大会による収益等が見込めない状況から、財政安定化を図るため、支出に見合う事業実施の検討が必要。
- ・ Vチーム支援対応として、開催地との契約の締結等を検討したいが、そのためには協会がどのように関わり、どういった支援ができるのかといった立ち位置や価値が問われる。  
Vチームの登録料の規定がないといった課題もあるが、全国の状況を確認し、まずは契約締結に向けた意識の醸成に取り組む必要がある。
- ・ 法人化については、基金対応や事務局体制を含めた課題もあり避けて通れない。

②総務委員会 ～齊藤総務委員長

- ・ 新型コロナの事業中止等に伴う各会計の執行管理と必要に応じた予算措置の検討。
- ・ 協会法人化の先進事例と法人形態等の調査研究。
- ・ 創立90周年記念事業の開催に向けた特別会計の編成。

③競技委員会 ～石崎競技委員長

- ・ 大会会場の分散化などの新型コロナ対応により、複数名の競技委員の配置が必要となったことに伴う旅費の増加が見込まれるため、予算措置検討願いたい。
- ・ 円滑な大会運営を行うため、マニュアル作成に取り組む。
- ・ 地区協会及び全道大会出場枠の見直しを複数年かけて検討する。
- ・ MRS管理者権限について、大会運営管理上、必要最小限の範囲で権限を付与するため、総務・競技・審判委員会で付与者を検討する。
- ・ 道協会HPへのお問い合わせメール対応を検討する。

④審判委員会 ～川崎審判委員長

- ・ 日B審査会が実施できていない。
- ・ 日A阿部・尾上審判員が東北ブロックに参加予定。
- ・ 新型コロナの影響で研修会が開催できず、不安を抱える審判員が多い状況。

⑤強化委員会 ～奥山強化委員長

- ・ 高校・JOCを中心に、成年・ビーチも含めて強化し、各カテゴリーで上位進出を目指す。
- ・ ビーチの大会には、旭川実業・恵庭南の女子チームが参加し、国体成年女子には、アルテミス北海道が、また、男子には、学生選抜が参加予定。
- ・ 現状、強化費の減が顕著なうえ、指導者の熱意や使命感に依存した対応が多く窺える。
- ・ ヴォレアス北海道では、アンダーカテゴリーの創設の動きもあるが、連携するうえでのチャンネルづくりが課題。

⑥指導普及委員長 ～笹森指導普及委員長

- ・ 中体連全道が7月30日から北斗市において無観客で開催される。
- ・ ジュニアキャンプは、現段階で中止の連絡はなく開催される見込み。
- ・ 指導者の高齢化が進み、バレー専門の教諭の減少、部活自体の減少が課題。

(5) その他

- 東京2020オリンピックに参加する道内出身の選手及び道協会審判員に対し激励金をお渡しする。
- ・ 日本代表男子の山本智大選手（5万円）
  - ・ レフェリーの村中伸氏・明井寿枝氏、及びスコアラーの正岡卓氏（3万円）

#### 4. 報告事項

##### (1) 日協関係

- ・ブロック理事長会議が開催されるので別途報告する。
- ・マスターズ全国大会の実施意向調査が競技委員長に送付されるので対応願う。

##### (2) 各委員会

###### ①総務委員会

- ・ママさん連盟より、「第34回ほくでんカップ北海道ママさんバレーボール大会」に係る会長挨拶原稿の依頼があり対応済。

###### ②競技委員会

- ・新型コロナに伴い各カテゴリーで大会が中止・延期。
- ・7月3日にマスターズ道予選、7月4日全国社会人東ブロック道予選を開催。
- ・天皇杯・皇后杯北海道ラウンド（科学大学から岩見沢総合体育館に変更）、高校選手権北海道代表決定戦（野幌総合運動公園ほか）を札幌協会主管で開催。

###### ③審判委員会

- ・全国社会人東ブロック大会を帯広市で開催。
- ・V2の試合が旭川・苫小牧で同日開催されることから審判員の配置を工夫。

###### ④強化委員会

- ・国体少年選抜の監督は、男子が東海大札幌校の松田監督、女子が旭川実業校の岡本監督。
- ・選抜チームの強化に向け、全国トップチーム（駿台・星城）を招いて練習会を開催。
- ・長身者合宿も妹背牛町で開催。

###### ⑤加盟団体

- ・実連：7月3日にマスターズ道予選、7月4日社会人東ブロック道予選を開催。
- ・学連：7月11日・12日に大学選手権開催。
- ・高体連：高体連準備視察の旅費が道教委から出ない。今年度は、高体連予算で対応するが、次年度の予算措置等について、道協会でも検討して欲しい。  
高体連の男女優勝旗の劣化が酷く更新の検討が必要。

##### (3) その他

#### 5. 閉会


【次回：令和3年8月9日（月・祝）10時00分～ 北海きたえーる小研】

議事録署名人

理事長

印藤 智一 

議事録署名人

田中 昌幸 

議事録署名人

笹森 恭之 